

大田区立男女平等推進センター「エセナおおた」指定管理者

特定非営利活動法人 男女共同参画おおた

NPO ニュース ごぶさたです!

メルマガ、なんちゃってリジチョーブログもどうぞ!

「Welcome Project」発足! 10年を迎え、センター内を模様替え

昨年度職員研修を機に、「Welcome Project」を発足し、「センターに来館されたご利用者の目的がきちんと達成できるように」とのコンセプトのもと、館内掲示物を見直し、レイアウトの変更、受付の対応など、日々ご利用者の声を大切に「おもてなしの心」で対応するよう心がけています。お気づきのことがありましたら、ご意見、ご希望をお寄せください。



玄関:センターの名物折り紙。折りがみ広場スタッフにより3か月毎に新作を。子どもたちにも大人気です。



授乳室、安心して授乳やおむつ替えができるように、明るい雰囲気に変更。



図書コーナー!一階から三階、二階、一階左喫茶コーナー。本の貸出が増えました。

先の見えない震災復興 まだまだ東北の応援を行なっています。

2011年からNPO法人全国女性会館協議会や大田区の関連団体等と連携をとりながら被災地を訪ねたり、東京でできる被災地応援を引き続き行なっています。



<6月>大田区被災地ボランティア

ティアに理事長と理事2名で参加。東松島市の個人宅の草取りや交流会の手伝いをしてきました。右の写真は地盤沈下により海と化したかつての町の風景。



福島県郡山市婦人会の方々から、被災地での交流会に使う毛糸が不足していると聞き、エセナおおたのボランティアスタッフの方々に協力していただき送付する。仮設住宅の交流会でモップカバー制作中のみなさま。



<10月>福島県二本松市の福島県立男女共生センター。被災3年目で初めて除染が行なわれていた。



岩手県盛岡市の就労応援で現地の女性たちが作った「まけないぞう」の販売を手伝う。



<4月>仙台市へ。来年の国連防災世界会議に先駆けて全国の女性関連施設等の皆さんが参加。2日目に沿岸部へ。前宮城野区長木須八重子さんより説明を聞く。

25年度も文部科学省主催「学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業」を受託しました。



福島駅前の線量計。大田区の10倍。

昨年度に引き続き、NPOが中心となった「被災者支援おおたネット実行委員会」でこの事業を受託。

パソコンアシスタント養成講座で学習した方が、PC講座のアシスタントとしてデビューしました。



この事業を受託した団体交流会が福島市で開催され出席。(10月28日)

理事長坂田静香の新刊本

「人が集まるチラシの作り方」発売中!



2013年秋、待望の新刊が上梓されました。

- ・チラシの実例が豊富で実践に役立つ
 - ・心をつかむ言葉や見せ方が学べる!
 - ・集客のあらゆるテクニックを大公開!
- 講座を企画してもなかなか人が集まらないということをよく聞きます。定員オーバーのテクニック満載です。ぜひお手元に1冊どうぞ。

A5判 160ページ 1冊: ¥1,200+税 家の光協会発行